

くどやま



成人おめでとう

2020

2 月号

No.532



～令和2年成人式～



成人おめでとうございます

令和2年成人式

1月12日、九度山町ふるさとセンターで「成人式」が開催され、新成人たちが大人の自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

今年は、平成11年4月2日から平成12年4月1日までの間に生まれた新成人が出席しました。振り袖やスーツに身を包み、久しぶりに会う友人たちと話し話や近況報告などに花を咲かせていました。

式典は、コーラスグループ「トウインクル」の皆さんによるコーラスに始まり、岡本町長をはじめ来賓の方々から新成人に激励の言葉が贈られました。また、九度山保育所5才児園児たちもお祝いの言葉や太鼓演奏を披露し、新成人の皆さんを祝福しました。これにこたえて、新成人を代表し、松岡大輔さんが成人としての誓いの言葉を述べました。

式典終了後、新成人の皆さんは、岡本町長と約30分間のフリートークをしました。フリートークでは、皆さんの将来の夢や、九度山に望むことなどをテーマにトークを行いました。最後に全員で記念撮影をした後も、談笑したり、写真を取り合ったりと、友人たちとの時間を楽しんでいました。今後の皆さんのますますのご健勝をお祈りします。



▲新成人代表として記念品を受け取る石井歩美さん



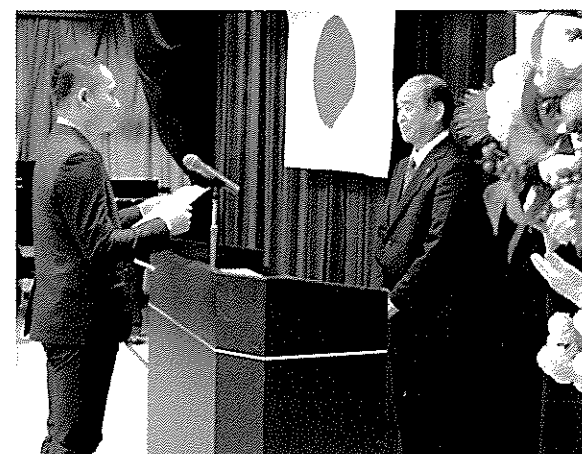
▲すてきな歌声が会場に広がりました。



▲町長とのフリートーク



▲小さな来賓もお祝いに駆けつけ太鼓の演奏でお祝いました。



▲誓いの言葉を述べる松岡大輔さん

九度山・真田ミュージアム企画展 「兜 ―戦いのデザイン―」 開催中

第6期は 2月5日（水）から3月29日（日）まで

第6期では、「筋兜」「頭形兜」や「変わり兜」などの兜の他、「陣笠」「籠手」、江戸時代末期に作られた「トンキョ帽」や「額金」などの武具の他「股引」などの身につける下着も併せて展示紹介します。

日本の歴史では、戦が大きく関わっています。この戦で武士が戦場で被った「兜」や「陣笠」、身を守るために身につけた「籠手」などの武具は、戦場での実用品として発展し、戦場で功績をあげるため自らを誇示したり、鼓舞するための晴れ舞台の衣装の一つとして目立つ工夫がなされています。また、これらは、戦の様式の変化に伴い、ただの武具としてだけではなく、各時代における金属加工・漆工・革工・木工・染織等の技術の粋を集めた美術工芸品でもありました。

現在、これらは、日本の文化の象徴として、また歴史的に価値のあるものとして海外からも高い評価がなされています。いずれも日本の職人たちのものづくりの凄さが見てとれます。

展示品からこれらの「兜」や「籠手」などの武具が、桃山時代から江戸時代へと武士の戦場における機能性を備えた実用品として発展するなかで、少しずつ様式や構造が異なっていき、時代の移り変わりも感じられます。

今までに来館され展示品を見られた方々は、「展示されている兜をじっくり見ていると鉄ばかりではなく、革のものもあったことがわかった。少しずつ構造が違っていて、そこから歴史も感じられる。」とか「兜も戦場で自分の身を守るためだけでなく、目立つために装飾を施したり、意匠を凝らしたり、相手を威圧するための工夫もされていたことがわかった。」「兜は、堅牢で重厚かつ力強いものがあつたり、質素なシンプルで質実剛健のものもあつたりして楽しく拝見させていただきました。」と話されています。

また、「旗指物も金字で名前を表したり、縫い目も等間隔であつたりして、こうした武具一つひとつにも美意識や武士の生きるか死ぬかの思いが見てとれる。」とか「身につける武士によって、兜や籠手にも装飾を施したり金を使ったりしている。これらの武具が用途や目的にあわせて当時の最適の材料が使われ作られていたことが見てとれる。いずれもそれぞれの職人の技が光る名品です。日本人のものづくりのすごさが見てとれる。」と話されています。

本企画展での展示品の解説や兜の見方（図解と用語解説）をまとめた図録（税込1冊1,500円）を販売しています。

映像では、展示品とともに、興味深い「兜」や戦の変化に合わせて、「兜」が重厚な「星兜」から軽くて堅牢な「筋兜」へと変わっていき、桃山時代になると武士たちは戦場で功績をあげ、目立つために意匠をこらした多種多様な兜を作るようになったことなどを有名な武将たちのエピソードをまじえながら約8分にまとめて紹介しています。



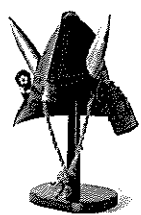
▲展示品図録

てつさびにじゅうけんにはうじろすじかぶと
鉄錆地二十間二方白筋兜 江戸時代 3.48kg ▶

江戸時代中期以降、源平合戦や太平記の武士を理想とし、その甲冑の再現を目指した「復古調」が登場しました。この兜は復古調の一例で、実用性よりも重厚さを重視しています。



てつろうしぬりもなりかぶと
鉄黒漆塗桃形兜 江戸時代 2.46kg ▶

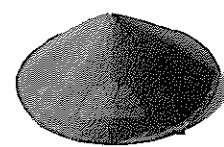


眉庇、腰巻板、四枚の矧板から桃形の兜鉢を構成しています。眉庇は、眉形を打ち出し、木製金箔押の脇立を立てています。

桃形兜の形状は、打撃を受け流すために頂部が尖った南蛮兜に似ています。外国文化の入口であった九州地方で流行したことから、南蛮兜の影響を受けた可能性が指摘されています。

てつろうしたぬりきくいちもんじんはちけんぱりじんがさ
鉄黒漆叩き塗菊一文字紋八間張陣笠 江戸時代 0.75kg ▶

陣笠は、戦国時代頃から下級武士用に、兜を代用する簡易な防具として普及しました。江戸時代には、日差しや風雨を防ぐため、身分の高い武士も公務での外出などに使用しました。陣笠の材質には、鉄、煉革、竹で網代を組んで和紙を貼ったものなどがあります。



この陣笠は下級武士用です。所属を示すために、藩主や主家の家紋を表しています。

「九度山町社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式

12月10日、令和元年度「九度山町社会を明るくする運動」作文コンテストにおいて、次の方々が九度山町長表彰を受賞されました（敬称略）。『』内は各受賞者の作品です。

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止および罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、犯罪のない明るい社会を築こうとする国民的な運動です。

●優秀賞（3名）（敬称略）

野中 香那（九度山小学校6年）

『私にできること』

釜谷 英汰（九度山中学校2年）

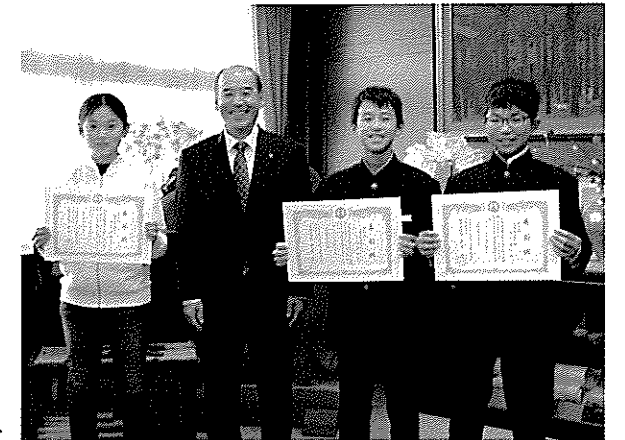
『いじめと向き合う』

井上 博仁（九度山中学校2年）

『お互いがマイナスに』

なお、優秀賞受賞者3名の作文は、今月号のお知らせ版に掲載しています。

左から野中さん、町長、釜谷さん、井上さん▶

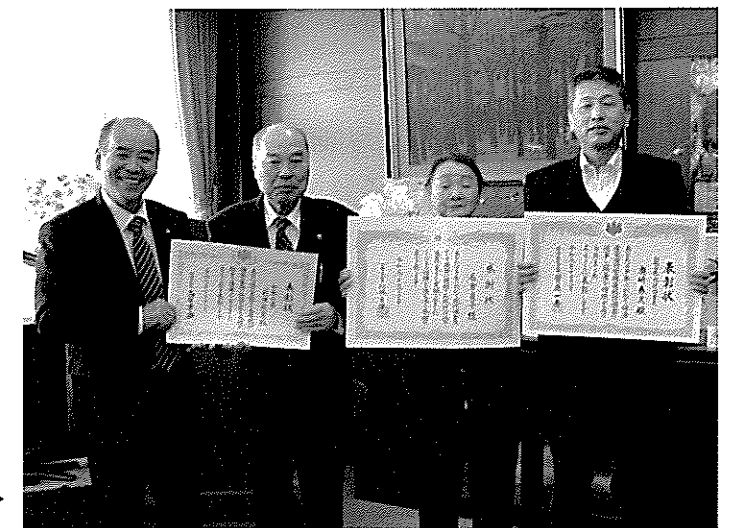


統計調査功労者表彰

このたび、統計調査において、多大な貢献をされた功績により、前田政宏さん、奥崎泰久さん、名倉貞子さんの3名が表彰されました。

前田政宏さんは、各種の統計調査に永年にわたり尽力した功績により総務大臣表彰を、奥崎泰久さんは、経済産業省所管の統計調査に数多く尽力した功績により、経済産業大臣表彰を受賞されました。名倉貞子さんについては、国勢調査に7回従事し、統計の普及進展に貢献した功績により、和歌山県知事感謝状を授与されました。

左から町長、前田さん、名倉さん、奥崎さん▶



九度山まちなか軽トラ市が開催されました。（主催：九度山まちなか軽トラ市）

12月15日、九度山郵便局付近において、九度山まちなか軽トラ市が開催され、早朝から多くの人でにぎわいました。会場では、地元野菜や柿の加工品をはじめ、パンやコーヒーが売られていたほか、河根小中学校の生徒児童が、学校で育てた野菜を販売していました。また、今回の軽トラ市では、子どもたちによる餅つきが行われ、来場者にはぜんざいが無料で振る舞われました。



▲軽トラ市会場の様子



▲河根小中学校の河根農園

消防出初式



▲分列行進

▲消防車両によるパレード



▲一斉放水訓練

1月12日、令和2年九度山町消防出初式が、ふるさとセンターにて執り行われました。団員総勢250名が、一糸乱れぬ団結力を披露し、今年1年が災害のない年であるよう願うとともに、防火・防災意識の高揚を図りました。

式典では岡本町長が式辞を述べ、続いて中谷消防団長が訓示を述べました。その後、消防活動に対して功績があった団員の表彰や来賓の皆さんの祝辞などが行われ、会場は厳粛な空気に包まれていました。

式典終了後は、分列行進と消防車両によるパレードが行われ、その後、入郷児童館下の河川敷に場所を移して一斉放水訓練を行いました。日ごろの訓練の成果を披露し、見学に訪れた人たちに今年1年の防火へ向けた決意を示しました。

表彰

出初式では、次の方々に表彰状または感謝状が贈られました。(敬称略)

■和歌山県消防協会総裁表彰

◎20年勤続表彰

(第1分団)

谷向 保美

(第2分団)

小松 良彦

安藝 弘哲

(第3分団)

岩田 雄三

中野 啓次

(第4分団)

奥田 晃久

堂ノ浦 進

松本 宜雄

故岩本 忠繁

◎功績章

(第1分団)

松山 智紀

(第2分団)

海堀 篤

(第3分団)

尾鼻 美規

(第4分団)

田中 啓介

■九度山町長表彰

◎15年以上勤続退団感謝状

堂ノ浦 進

松本 宜雄

故岩本 忠繁

【消防関係表彰の伝達】

◎消防庁長官表彰

◎永年勤続功労章

(本部)

◎日本消防協会長表彰

◎功績章

(本部)

副団長 福岡 忠司

◎30年勤続章

(第4分団)

西岡 義人

◎和歌山県知事表彰

◎永年勤続功労章

(第4分団)

坂本 昇

中谷 弘

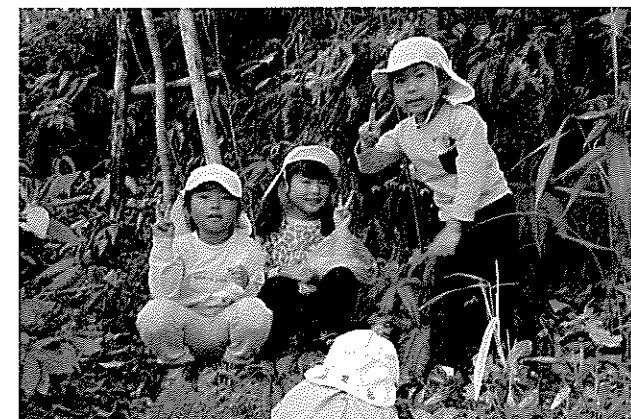
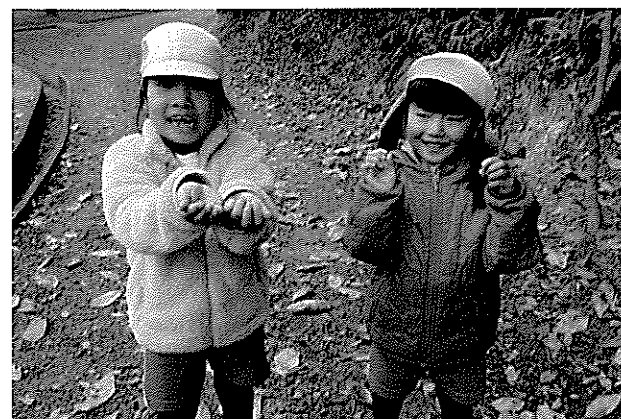
(元団員)

松本 宜雄

「緑の募金事業」を活用し、九度山保育所が森林体験を実施

11月26日に九度山保育所が、橋本市運動公園内にある「ひだまりの郷 郷土の森」において、「緑の募金事業」を活用して森林体験を行いました。園児の皆さんは、森に入って木に触れたり、どんぐりを拾ったり、散策をしたりしながら、森林の役割や緑化の大切さを学んでいきました。

皆さんにご協力いただいております「緑の募金」は、「緑の募金事業」によりこのような緑育事業や緑化活動等に活用されております。



スポーツの大会において、好成績を収めましたので、お知らせします。

スポーツ

九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績

11月23日に紀の川市民公園テニスコートで第29回少年少女ソフトテニス大会が開催され優秀な成績を収めました。(敬称略)

◎5年生女子の部

優勝 児玉 千咲帆(6年)・北畑 愛満(6年)
準優勝 北村 朱寿加(5年)・辻本 絢音(6年)



12月1日に白浜町テニスコートで第19回全日本小学生ソフトテニス選手権大会の和歌山県予選会が開催され優秀な成績を収めました。なお、各クラスの入賞者(全員)は、県代表として3月29日~31日に千葉県白子町で開催される第19回全国小学生ソフトテニス大会に出場します。

◎5年生男子の部

第3位 木上 漣(5年)・海堀 大翔(5年)

◎4年生以下男子の部

優勝 林 寿李稀(4年)・中邑 夢弥(4年)
第4位 中澤 秀哉(4年)・藤井 律希(4年)

◎5年生女子の部

優勝 北村 朱寿加(5年)・小山 希柊(5年)

◎4年生以下女子の部

優勝 藤田 杏(4年)・寺岡 紗菜(4年)
準優勝 辻本 咲良(4年)・井上 優衣奈(4年)



◆お詫びと訂正◆

広報くどやま1月号において、次の誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

7ページ目 エンジョイウォークの記事内(誤)大崎町 → (正)大山崎町

9ページ目 農林業センサス記事内 (誤)正木 永嗣 → (正)正木 栄嗣

広
報

くどやま

—令和2年九度山町消防出初式—



山形県消防協会 令和2年9月10日発行